

2012年4月～2025年3月に本院の口腔外科で、医原性上顎洞異物迷入で診断・治療を受けた方へ

研究 医原性上顎洞内異物迷入の臨床的研究 の実施について

1. 本研究の目的および方法

本研究の目的は、徳島大学病院口腔外科に受診する医原性上顎洞内異物迷入患者について、部位や症状、ならびに治療内容などについて後ろ向き解析することで、本疾患の実態を把握することです。

<研究対象者>

2012年4月～2025年3月に本院の口腔外科で、医原性上顎洞異物迷入と診断・治療された方

<方法>

カルテ情報を用いて医原性上顎洞内異物迷入の診断・治療を受けた患者の異物の種類、迷入部位、症状、治療内容および経過などを後方視的に解析します。

本研究は、徳島大学病院生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得た後、徳島大学病院長の許可を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の項目および保管方法について

通常診療にて得られた情報（口腔内写真、レントゲン写真および診察時記録など）を電子カルテより参照させていただきます。（本研究を行なうことで患者さんに通常診療以外の金銭的あるいは肉体的なご負担が生じることはありません。）

<用いる情報>

異物の種類、迷入部位、症状、治療内容および経過など

<情報の取り扱い>

本研究では、試料・情報は徳島大学のみで取り扱い、外部への提供はいたしません。

- ・研究期間：2025年8月1日（倫理審査会承認後、病院長の許可日）～2029年3月31日
- ・保管場所：徳島大学口腔外科教室（施錠あり）
- ・保管責任者：徳島大学病院口腔外科 教授 栗尾奈愛
- ・保管期間：研究終了日より3年後まで

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ております。

5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学病院

【研究責任者】 口腔外科・講師・工藤景子

【連絡先】 口腔外科・講師・工藤景子

電話番号 088-633-7376(口腔外科外来)

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。